

## 1 活動名 持つべき病院機能と経営状況（尾道市）

### 2 調査の目的

#### (1) 本市における課題

新松本市立病院の機能と健全経営と地域で果たす役割

#### (2) 調査の必要性

現在市立病院の移転改築の議論がされているが、適正病床数、診療科目数の把握など健全経営と大きくかかわるため

#### (3) 調査項目

公立病院の経営実態、地域包括ケアシステムにおける病院の役割

### 3 調査地選定理由

#### (1) 広島県尾道市 尾道市立市民病院

松本市立病院と似通う機能、規模であり同じ公立病院として地域において果たす役割、期待される効果も同じであるため

### 4 調査結果

#### (1) 実施日 2017年6月28日

#### (2) 出席者 7名 青木豊子、芝山稔、上條温、青木崇、今井ゆうすけ、川久保文良、草間錦也

#### (3) 尾道市（2017年6月28日）

・尾道市では、治療だけでなく生活の質に重点を置いた保険・医療・介護・福祉の多職種協働による利用者本位の長期支援システムの構築を目指していた

・尾道市立市民病院は「地域医療支援病院」の承認を受けている中核病院であり病床数280、26科となっていた。

#### (4) 成果・所感等

・病院経営は、一般の職員では難しくプロパーでないと厳しい。

・超少子高齢化人口減少社会において、地域に適した地域包括ケアシステムの構築が必要。

### 5 政務活動費

#### (1) 使途項目 調査旅費

(2) 支出額 467,340 円(日当 9,000 円、宿泊費 29,600 円、交通費 39,290 円)×6人

—以 上—

※今井議員は政務活動費不使用